

人口減少の克服をめざし、世界へ打って出る

グローバル化の進展やICT(情報通信技術)の急速な進化などにより、私たちの暮らしは大きく変化し、青森県と世界との距離は時間的にも心理的にもさらに近づきます。このような大きな「時代の転換点」を迎える中、人口減少の克服をめざし国内外に目を向け、「世界へ打って出る」という意欲を持って、県民一丸となってチャレンジしていく必要があります。

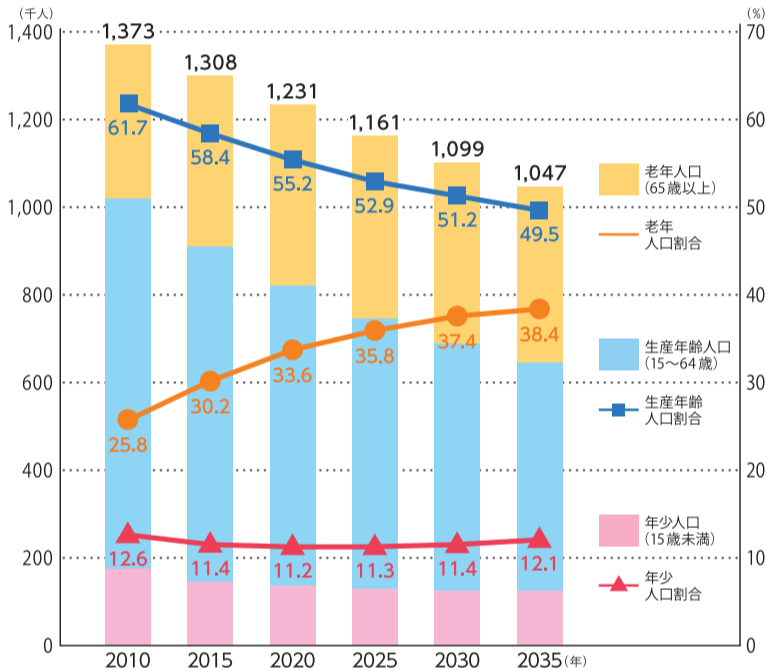
2020年 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催
2021年 青森県政150周年
 北海道・北東北の縄文遺跡群世界遺産登録決定
 (青森県では、2021年の登録をめざしています。)
2023年 世界の人口が80億人に到達
2025年 第80回国民スポーツ大会本県開催
 超高齢化時代の到来
 また、2030年度には、北海道新幹線全線
 [新函館北斗～札幌間]の開業が予定されています。

世界のこれから

世界の人口は、アジア・アフリカの新興国を中心に増加する一方で、高齢化が進んでいきます。自由貿易が活発化し、経済成長を続けるアジア諸国への輸出拡大のチャンスとなりますが、外国産農林水産物の輸入増加など、各産業分野での世界各国との競合も考えられます。

「第4次産業革命」といわれるAI(人工知能)やあらゆるものがインターネットとつながるIoTなどの技術革新は、産業面だけではなく、健康、医療、金融、公共サービスなど、幅広い分野に影響を与えていくものと見込まれます。

■年齢3区分別人口・人口構成割合の推移と将来推計(青森県)



青森県の人口は減少傾向が続き、65歳以上の人口割合が高まり、15~64歳の人口割合は低下していくものと見込まれています。

日本・青森県のこれから

青森県の人口は、出生数の低下などによる自然減と、若者の県外への転出による社会減の両面から減少が続き、少子化・高齢化の進展により高齢者の割合が高まっています。

2025年には団塊の世代がすべて75歳以上となる超高齢化時代を迎えます。一方で、医療技術の進歩などにより、健康寿命が延伸し、「人生100年時代」の到来が見込まれます。

国は、先端技術をあらゆる産業や社会生活に取り入れ、経済発展と社会的課題の解決を両立していく社会として「Society 5.0」の実現をめざしており、人口減少や超高齢化の進展に伴って生じるさまざまな課題の解決と、私たちの生活の質の向上が期待されています。

青森県のさらなる強化ポイント

青森県を取り巻く環境の変化に対応しながら、これまでの取組の成果はさらに伸ばし、直面する課題に立ち向かっていくため、次の視点を重視し、5つの戦略プロジェクトにより、重点的に取組を進めます。



5つの戦略プロジェクトを策定